

## 社会・関係資本

サプライヤー数  
[単体]

772社

### ステークホルダーとの丁寧な対話による強固な関係を構築

100年に一度の大変革期と国際社会が不安定な中で、経営ビジョンを実現していくには様々なステークホルダーとの円滑な連携が重要です。豊田合成はステークホルダーと丁寧に対話を重ね、ステークホルダーと共に社会への価値提供を通じて、強固な相互信頼関係を構築・維持し、厳しい事業環境の中でも着実に進化し続けます。

- 機関投資家との対話  
(決算説明会、スモールミーティング、ESG説明会、施設見学会、事業説明会など)
- 大学共同研究  
(名古屋大学、大阪大学、東京大学など)

社会への取り組み [P54](#)

## 自然資本

総エネルギー  
投入量

236.1万GJ<sup>※</sup>

※ギガジュール(1,000,000,000J)

### 培ってきた環境技術と知見を活かした「気候変動」と「資源循環」への取り組み

豊田合成は、1993年に「第1次環境取組みプラン」で本格的に環境活動を開始し、約30年精力的に取り組んできました。自然資本はマテリアリティ(重要課題)やアウトカムの根源であり、これまで培ってきた「環境保全の知識・技術」と「ゴム・樹脂分野の知見」をより進化させることで効率的な資源投入と環境負荷の低減を実現し、環境と経済価値の両立を推進します。

- 総物資投入量:40,305t
- 水資源投入量:112万m<sup>3</sup>
- 再生可能エネルギー投入量:3.4万GJ
- ISO14001 生産事業所取得率(環境マネジメントシステム):100%

マテリアリティ [P22](#) 環境への取り組み [P42](#)

## 財務資本

信用格付

A+(R&I)

### 持続的成長と企業価値向上を支える健全な財務マネジメント

持続的成長のためには、設備や研究開発、人材への継続的な投資が必要となります。豊田合成は健全な財務マネジメントにより財務基盤の安定性を維持し、必要なタイミングで財務資本を効果的に使用することで継続的な成長を実現します。今後はROICなどの新しい管理指標などを導入し、投資効率を重視した意思決定を進め、グローバルで機動的に資金を融通する仕組みの構築により資金の効率化を図るなど、資本の効率性も重視した、多面的な財務マネジメントにより企業価値向上を目指します。

- 株主資本:4,288億円
- 有利子負債:1,736億円
- 親会社所有者帰属持分比率:49.9%

財務担当役員メッセージ [P40](#) 財務・非財務ハイライト [P86](#)